

平成30年4月2日(月)
中部経済新聞に掲載されました。

アルプススチール

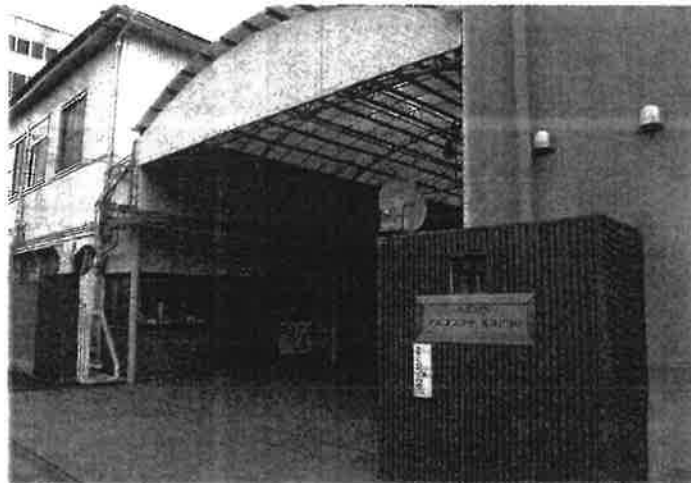
其 一 其

中部経済の担い手 ～地域未来牽引企業～

外に設置できる製品の開発を行うなど、新分野の開拓も進めている。

このほど、経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定された。同社の従業員は約160人。その大半が、地域住民だ。平均年齢は36歳と若く、工場や倉庫の現場で働く従業員が全体の8割を占めるが、女性社員比率も約3割にのぼっている。子育て支援や仕事と家庭との両立支援、女性の活

離職率は2%止まり



アルプススチールの本社(名古屋市中川区)

る会社の姿勢が社内外から評価されているのでは」と語る。
また、地域に開かれた会社を目指し、名古屋市中川区の本社に隣接する工場で見学会を年間約70回実施。地域住民や学校の生徒、自治体関係者、取引先関係者を招いている。

一方、事業面では、2年前に新たに「粉体塗装機」を導入。スチールロッカーに溶剤塗装に比べ塗膜が厚い「粉体塗装」を施すことで高い耐久性を実現し、屋外に設置しても劣化しにくいロッカーなどの製品化に

乗り出した。すでに、空のペットボトルや缶を入れる自動販売機用ダストボックスや、駐車場の精算機の製造を開始している。
スチールロッカーは内需型製品で国内景気の影響を受けやすいため、品ぞろえを拡充し、収益源の多角化を図っていく考えだ。

今年で創業80周年を迎えるアルプススチール(利川烈社長)。スチールロッカーなど箱物板金加工製品の製造販売を手掛ける。国内シェアはスチール収納家具で約10%、スポーツジム向けロッカーで約60%。最近では、室内だけでなく屋

子育て支援や柔軟な再雇用制度

躍推進などに力を入れ、この10年の離職率は、年2%前後で推移。社員が生き生きと働ける環境づくりに積極的に取り組んでいる。シニア人材の再雇用にも

経済産業省は昨年、全国各地で、地域経済の担い手となる「地域未来牽引企業」を選定した。選定企業に対し、情報の発信や経営相談など、さまざまな支援策を展開する。中部経済産業局では、高い付加価値の創出が期待できる管内5県の中堅・中小企業、ベンチャー企業の中から、229社を選んだ。主な「地域未来牽引企業」を、随時紹介する。

勤務を認めている。

長谷川茂専務は「若手から中堅、ベテランまで、年齢層に偏りが無い。不況下でも人員整理をせずに乗り切った。従業員を大切にす